

日時：平成 24 年 5 月 15 日（火）  
14 時 30 分～  
場所：ホテルオークラ札幌 フォンテーヌ

**第 1 回 札幌駅・大通駅周辺地域  
都市再生緊急整備協議会 会議**

次 第 (案)

- 1 札幌市の特定都市再生緊急整備地域について（資料Ⅱ－①）
- 2 札幌市の国際競争力等の現状について（資料Ⅱ－②）
- 3 整備計画の策定について（資料Ⅱ－③）
- 4 幹事会の設置について（資料Ⅱ－④）
- 5 その他

《配布資料》

- ・次第（本書）
- ・札幌市の特定都市再生緊急整備地域について（資料Ⅱ－①）
- ・札幌市の国際競争力等の現状について（資料Ⅱ－②）
- ・整備計画（案）（資料Ⅱ－③）
- ・幹事会設置要綱（案）（資料Ⅱ－④）

# 札幌市の都市再生緊急整備地域



## ◆札幌駅・大通駅周辺地域（144ha（特定地域 109.5ha））

- ・H14.10.25 地域指定（H14 政令第 318 号）
- ・H17.12.6 地域整備方針変更（第 15 回都市再生本部）
- ・H24.1.18 地域整備方針変更（第 22 回都市再生本部）
- ・H24.1.20 特定地域指定決定（閣議決定）
- ・H24.1.25 特定地域指定（H24 政令第 11 号）

## ◆札幌北四条東六丁目周辺地域（19ha）

- ・H14.10.25 地域指定（H14 政令第 318 号）
- ・H23.11.16 地域整備方針変更（第 21 回都市再生本部）

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
札幌駅・大通駅周辺地域	<p>札幌市の都心において、既存の都市基盤と世界有数な多雪寒冷の大都市という地域特性を活かし、人と環境を中心に据えた都心づくりを推進</p> <p>このため、札幌駅前通や創成川の整備効果を活かし、都心の骨格軸や交流拠点を基軸とする、歩いて暮らせる豊かで快適な都心の創造に向けた多様な高次な機能が複合した市街地を形成</p> <p>併せて、低炭素社会の実現を図るため、雪の冷熱エネルギーの活用等による、環境負荷の低い新たなエネルギー有効利用都市の実現を先導</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌駅周辺において、広域的交通結節点としての機能を強化するとともに、情報、サービス、交流機能等を充実・強化 このうち、北口周辺では業務、居住機能等の複合市街地を形成</li> <li>○札幌駅前通沿道において、引き続き業務、商業、交流機能等を充実・強化</li> <li>○大通と創成川通が交差する交流拠点において、創造的活動に資する文化芸術等の機能や、商業、交流機能等を充実・強化</li> <li>○創成川通沿道において、商業、居住、宿泊機能等を充実・強化するとともに、多様な都市機能を創成川以東地区に波及させる交流機能を導入</li> <li>○大通以南の地区において、防災・安全面で課題を抱える老朽建築物の更新を促進することで、商業、交流機能を充実・強化するとともに、業務、居住機能等との複合市街地を形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路等と敷地内通路等の連携や広場空間の整備・活用により、災害時の避難路としても活用可能な地上・地下の重層的な歩行者ネットワークを充実・強化 この際、多面的な活用が可能な敷地内空地等を確保 さらに、中長期的には、人と環境を重視し、歩行者主体の交通体系について検討</li> <li>○札幌駅周辺において、北海道新幹線の札幌駅乗入や路面電車の札幌駅方面への延伸を見据え、交通結節機能を再配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地下通路との接続により一体的な地下空間を形成するとともに、建築物の低層部及び地下部に、にぎわいを演出する商業、サービス機能等を導入する都市開発事業を促進</li> <li>○大通以南の地区等において、居住機能を導入する際、建築物の低層部に、にぎわいを演出する商業、サービス機能等を導入する都市開発事業を促進</li> <li>○敷地内空地の緑化等、緑豊かなまちづくりに寄与する都市開発事業を促進</li> <li>○自立・分散型エネルギー供給拠点の整備、冷熱・温熱等の供給ネットワークの活用、外気を活用した冷房等の省エネルギー対策等、防災性の向上や環境負荷の低減に寄与する都市開発事業を促進</li> <li>○まちづくり会社などによる、地域の価値向上を目指すエリアマネジメントの取組を推進するとともに、官民協働の都市開発事業を促進</li> </ul>
[特定都市再生緊急整備地域]	<p>優れたまちづくりを通じて世界都市となることを目指す札幌市の都心において、都市機能の集積・高度化、都市空間・エネルギー等のネットワーク形成、エリアマネジメントの展開を推進し、災害にも強く、国際的な活動の拠点にふさわしい市街地を形成</p> <p>併せて、これらの優れたまちづくりの展開をパッケージとして国内外に情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○札幌駅周辺において、世界都市さっぽろの玄関口にふさわしい都市空間・都市景観を形成するとともに、交通結節機能を強化</li> <li>○札幌の目抜き通りである札幌駅前通沿道において、高い環境・防災性能を有する国際水準の業務機能を導入</li> <li>○大通と創成川通が交差する交流拠点において、国際水準の文化芸術等の創造的活動に対応可能な集客交流機能を導入</li> <li>○大通以南の地区において、路面電車の延伸や地下通路及び地上部道路の整備検討と一体となった都市開発事業により、商業、業務、交流機能を充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国内外の優れた現代舞台芸術等の公演に対応可能な国際水準のホールを有し、文化芸術振興の拠点、集客交流拠点となる市民交流複合施設を整備</li> <li>○駅前通地下歩行空間や創成川公園などの整備効果を活かし、北3条広場や札幌駅前通と大通が交差する交流拠点における地下広場等、国内外の人々の交流を促進する広場空間を整備</li> <li>○大通以南の地区において、路面電車の延伸や、都市開発事業と一体となった地下通路及び地上部道路の整備検討を推進</li> <li>○環境にやさしく、災害にも強いまちづくりの実現に寄与するコージェネレーションなどの自立・分散型エネルギー供給拠点の整備、駅前通地下歩行空間に併設した熱導管収容施設の更なる活用、スマートエネルギーネットワーク化の検討など、低炭素社会・エネルギー有効利用都市のモデルとなるエネルギーネットワークを形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○都心の回遊性を高め、都市の魅力向上やにぎわいの創出、防災性・安全性の向上に寄与する公共的空間等を整備する都市開発事業を促進</li> <li>併せて、オープンスペースのネットワーク化や、公共的空間を活用する取組を促進</li> <li>○都市開発事業単位、地区単位、都心全体等、各レベルに応じた重層的なエリアマネジメント体制を強化するとともに、まちづくり会社等の都市再生整備推進法人化を促進</li> </ul>
札幌北四条東六丁目周辺地域	<p>札幌都心東部に位置する大規模工場の土地利用転換等により、環境共生型市街地のモデルとなる複合市街地を形成</p> <p>併せて、雪の冷熱エネルギー等を活用したエネルギー有効利用都市の実現のための供給拠点を形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○居住機能と業務機能等が複合した市街地を形成</li> <li>○札幌都心で形成すべき冷熱、温熱等の自立・分散型エネルギー供給ネットワークの拠点機能を導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○周辺の集客・交流施設との回遊性を高め、災害時の避難路としても活用可能な歩行者ネットワークを形成</li> <li>○都市開発事業に関連した道路整備により、災害時の避難路や緊急輸送道路としても活用可能な地域内道路網を充実・強化</li> <li>○冷熱、温熱等の自立・分散型エネルギー供給ネットワークを形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災・安全面で課題を抱える老朽建築物の更新等災害に強いまちづくりの実現に寄与する都市開発事業を促進</li> </ul>

◆札幌の都市再生の基本的な考え方

～都心まちづくり計画（H14）  
さっぽろ都心まちづくり戦略（H23）

札幌が・・・

アジア・世界レベルでの都市間競争の中で確固たる地位を築いていく

ためには、

世界から投資や人材を呼び込むことができる都市へと成長していくこと

が必要

都心においては・・・

**高次な都市機能の集積**

を図り、世界都市の顔として

**国内外に札幌の魅力をたゆまず発信**

し続けていく

**世界**に向け魅力を発信し、**市民**生活を豊かに  
する都心の創出



ひととき優れたまちづくり  
を展開すること

まちづくり自体によって  
世界都市となること

“世界都市さっぽろ”をつくる



◆札幌の都市再生で目指すもの

◆都市機能の集積・高度化

～国際水準の業務機能・文化芸術  
機能の集積・高度化によって、世界  
都市として魅力ある都市の実現

◆都市空間・エネルギー等のネットワーク形成

～地上地下のオープンスペースや、路面電車等、  
重層的なネットワーク化による回遊性の向上  
と、スマートエネルギー等のエネルギーネットワー  
ク形成による“環境首都・札幌”の実現

◆エリアマネジメントの展開

～都市機能・都市空間を活用する  
実行部隊としての『まちづくり会社』  
等エリアマネジメント体制の強化

都心の構造強化により「多様性」と「回遊性」を向上

「行きたいまち」から  
「生きたいまち」へ

魅力度ランキング  
1位

「行きたいまち」  
「住みたいまち」としての都市魅力を一層高める

※ブランド総合研究所  
「地域ブランド調査2011」

都市魅力を都心で  
象徴的に発信

優れたまちづくりの取組みを  
パッケージとして国内外に発信

実現

札幌の貢献  
～国際競争力の強化～

国内外の観光客・ビジネスパーソン等を惹きつけ、  
集客交流都市として、国のデジタルジャパンに貢献

# ◆主要プロジェクト

## ＜＜都市機能の集積・高度化＞＞

### ◆札幌駅交流拠点

北海道新幹線・路面電車の札幌駅乗入れを見据え、都市再生特別地区を活用した道路上空利用をも念頭に、

#### “世界都市さっぽろ”としての玄関口

にふさわしい都市空間を形成

①北8西1

②北5西1・2



### ◆札幌駅前通地区、大通交流拠点

札幌の目抜き通りとして、

#### “世界都市さっぽろ”にふさわしい、高品質で、高い環境・防災性能を有する国際水準のオフィスの集積・供給

③北2西4

④北3条広場

⑤サッポロ広場



### ◆創世交流拠点

#### “世界都市さっぽろ”にふさわしい、国際水準の演目にも対応可能な高機能ホール等、文化芸術・集客交流拠点の形成

⑥北1西1

⑦市民交流複合施設



## 札幌駅・大通駅周辺地域

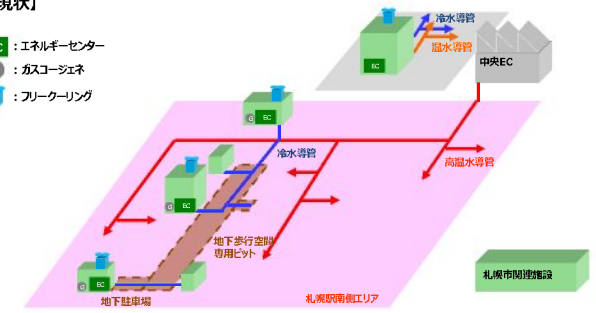


## ＜＜都市空間・エネルギー等のネットワーク形成＞＞

### ◆エネルギーネットワークの形成

【現状】

- EC: エネルギーセンター
- G: ガスコージェネ
- FC: フリークーリング



【今後の展開】

自立・分散型エネルギー供給拠点（EC）の整備

駅前通地下歩行空間に併設したピットを活用した更なる熱導管の整備

IT技術の活用によるスマートエネルギーネットワーク化の検討

⇒ 多雪寒冷地の低炭素社会・エネルギー有効利用都市のモデルとなる取組を展開

- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域

## ＜＜エリアマネジメントの展開＞＞

### ◆重層的なエリアマネジメント体制の強化

- 街区・都市開発単位のマネジメント
- 地区単位のマネジメント
- 都心全体のマネジメント

札幌駅前通  
まちづくり会社

札幌大通  
まちづくり会社

都市再生  
整備推進  
法人化

### ◆都市再生の担い手としてのエリアマネジメント体制の強化

都市再生  
整備計画の  
提案・推進

- まちのにぎわいの創出
- 公共空間の活用・運営主体
- 官民間の総合調整役・コンサルティング

「札幌駅・大通駅周辺地域」  
都市再生緊急整備協議会

第1回協議会資料

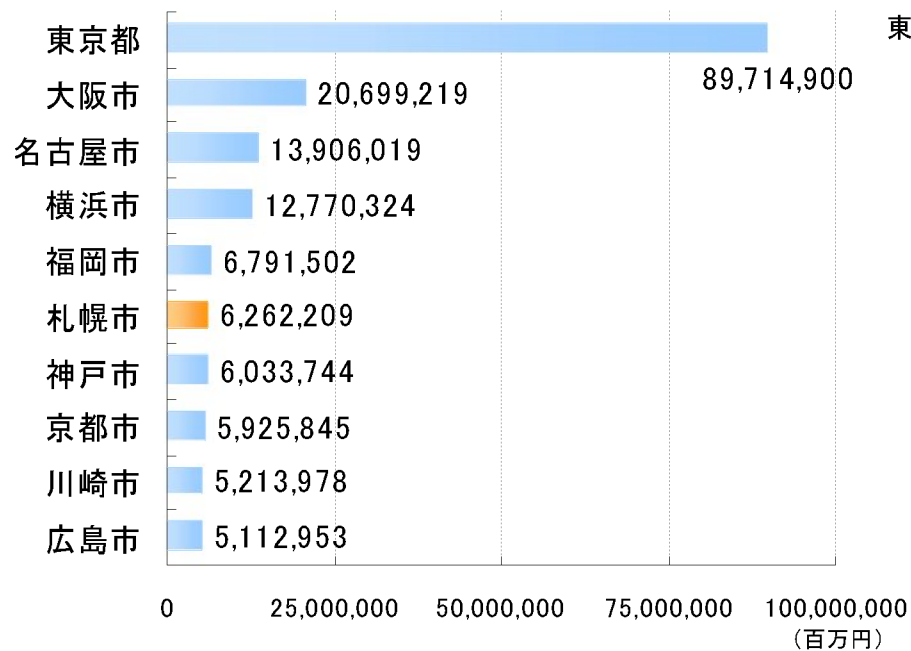
2 札幌市の国際競争力等の現状について

## ●人口・経済規模

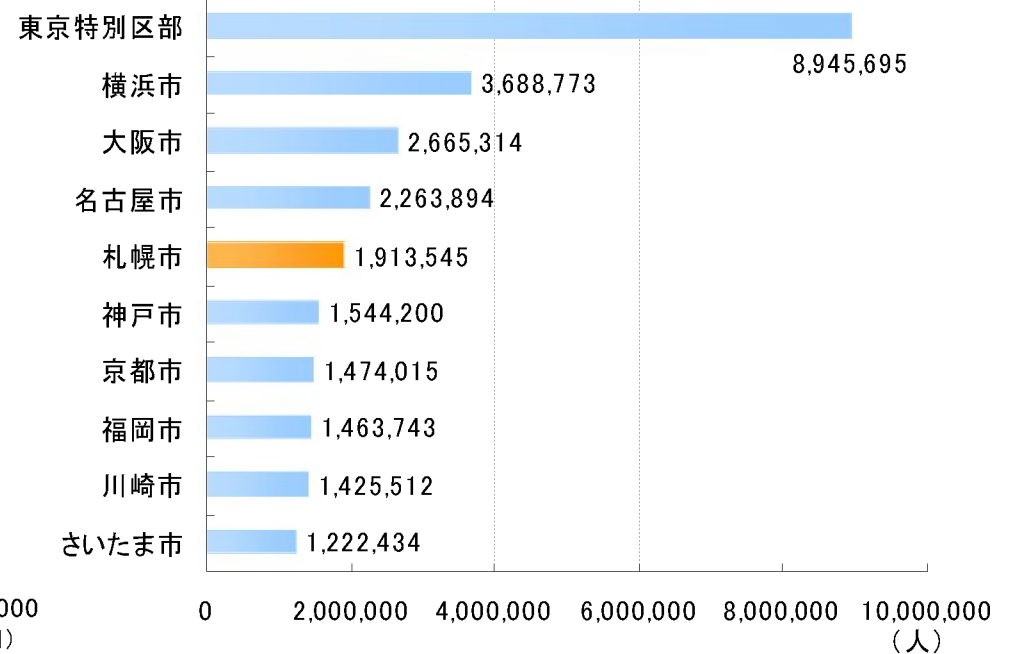
▼GRPは低調に推移が続くものの、国内では6番目に高い北海道経済を牽引する中心都市。

▼人口約200万人の国内では5番目の大都市。

### 【政令指定都市のGRP】



### 【日本の人口ランキング】

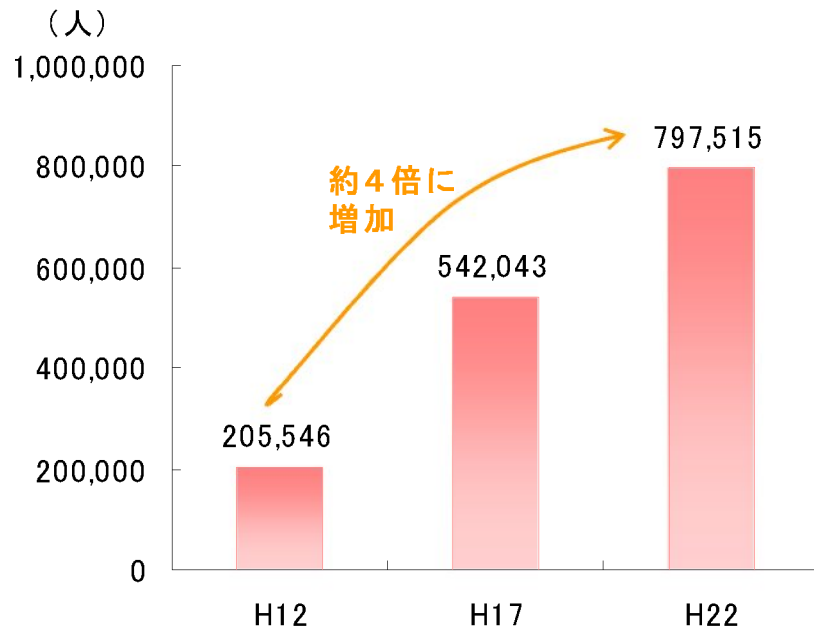


(資料) 平成22年国勢調査

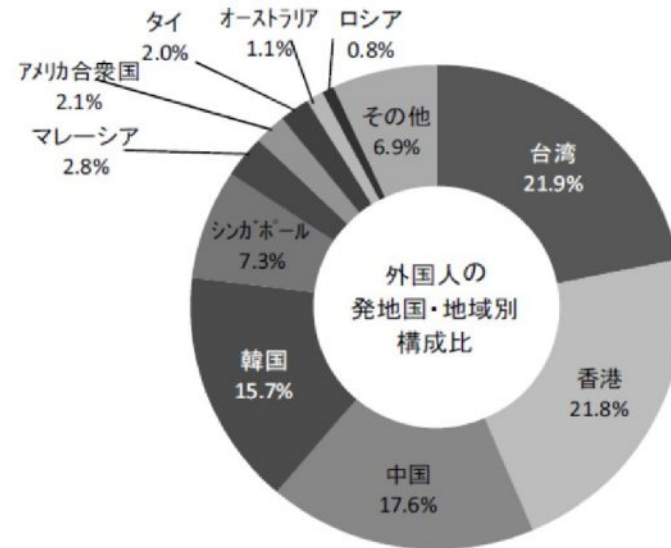
●観光

- ▼平成18年から観光入り込み客数の落ち込みが続く一方で、外国人観光客はここ10年間で大きく増加。
- ▼特に台湾や香港などの東アジアから来札者が多く、知名度とともに観光需要は増大。
- ▼札幌に訪れる観光客は夏と冬に多く、豊かな自然とともに、札幌の四季や食などが、人々を惹きつける地域の魅力となっている。

【外国人の宿泊客延べ数】



【札幌市における外国人宿泊者数構成比】



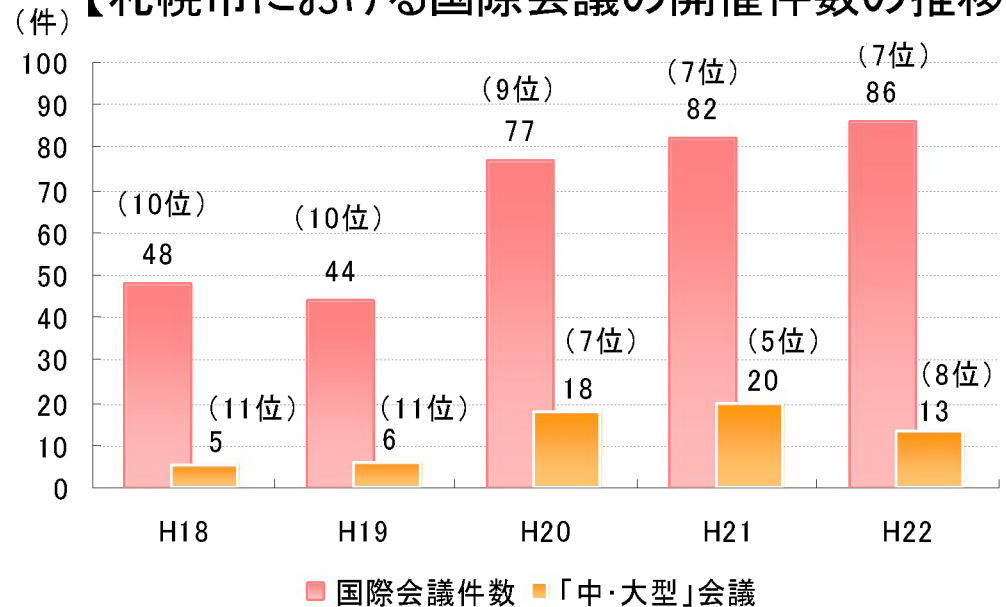
(資料)札幌の観光 平成23年度版 / 札幌市

●観光

▼コンベンションの開催地として、近年は国内における位置づけが高まっている。

▼ブランド総合研究所「地域ブランド調査2011」で、「魅力度」が1位となるなど、国内でトップクラスの魅力を持つ都市。

【札幌市における国際会議の開催件数の推移】



(資料) 各年の「国際会議統計」/日本政府観光局(JNTO)

【主要な評価項目の上位ランキング】

	魅力度	認知度	居住意欲度	観光意欲度	訪問率	食品購入意欲度
1位	札幌市	大阪市	横浜市	札幌市	新宿区	札幌市
2位	函館市	名古屋市	神戸市	函館市	横浜市	函館市
3位	京都市	神戸市	鎌倉市	京都市	京都市	夕張市
4位	横浜市	京都市	京都市	富良野市	品川区	名古屋市
5位	神戸市	新宿区	札幌市	小樽市	渋谷区	米沢市

(資料) 地域ブランド調査2011/ブランド総合研究所

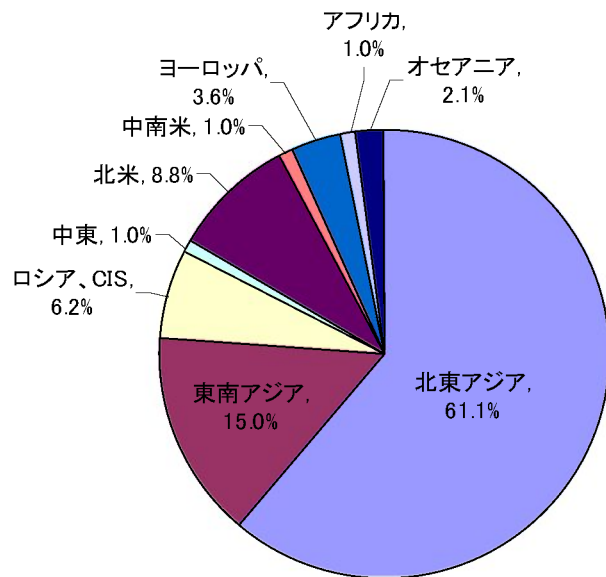


## ●高度業務

▼今後成長が期待され、北海道に優位性がある、「食・バイオ」関連企業による研究開発とアジアを中心とした海外進出が見られる。

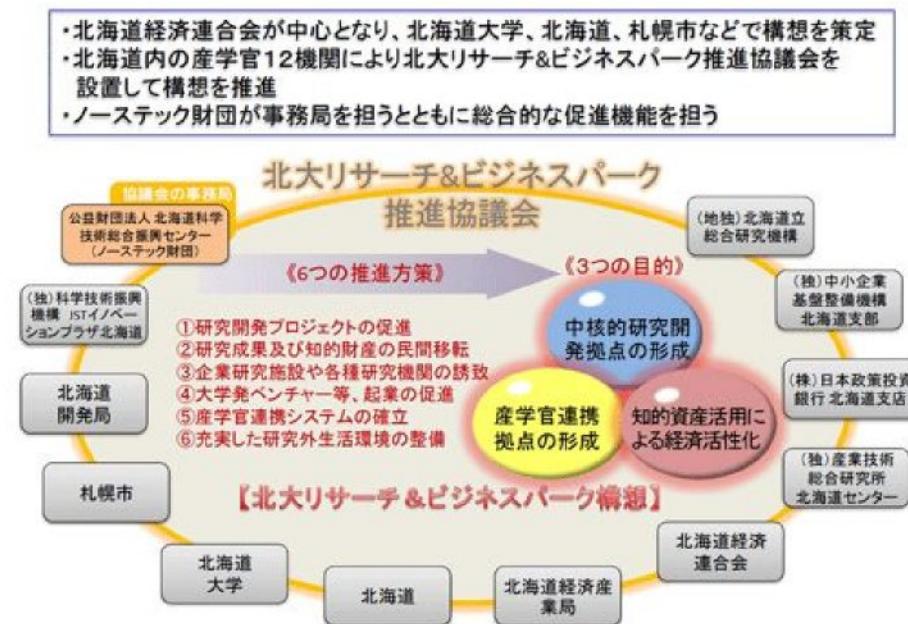
▼北大リサーチ&ビジネスパークなど、北海道大学をはじめとした研究開発機関が集積し、産官学連携による新たな技術開発や新産業の創出など、北海道や札幌市の経済活性化に向けた取組みが展開。

【道内企業の海外進出先国籍割合】



(資料) 日本貿易振興機構(ジェトロ)北海道による企業アンケート調査結果

【北大リサーチ&ビジネスパーク】



(資料) 北大リサーチ&ビジネスパークHPより転載

## ●インフラ

- ▼新千歳空港は、乗降客数は国内で2番目、羽田空港間の便数は国内で最多であり、**首都圏や各主要都市と太いパイプをもつ。**
- ▼主に東アジアやロシアの主要都市と国際線で結ばれ、**国際線の着陸回数や乗降客数が年々増加。**
- ▼**都心部のアクセス機能の強化**により、新千歳空港からの交通利便性は高まり、より一層国際ビジネスや観光の活性化が期待される。

### 【札幌都心と新千歳空港間の道路所要時間】



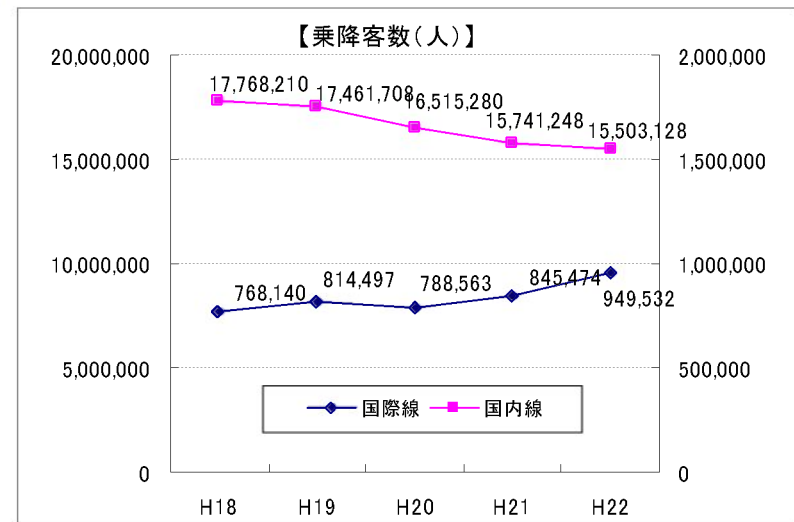
(資料)道央都市圏の都市交通マスタープラン(2010年)

### 【国際線路線網図(平成24年3月現在)】



(資料)新千歳空港ターミナルビルHP(フライト情報)より作成

### 【新千歳空港の利用動向】

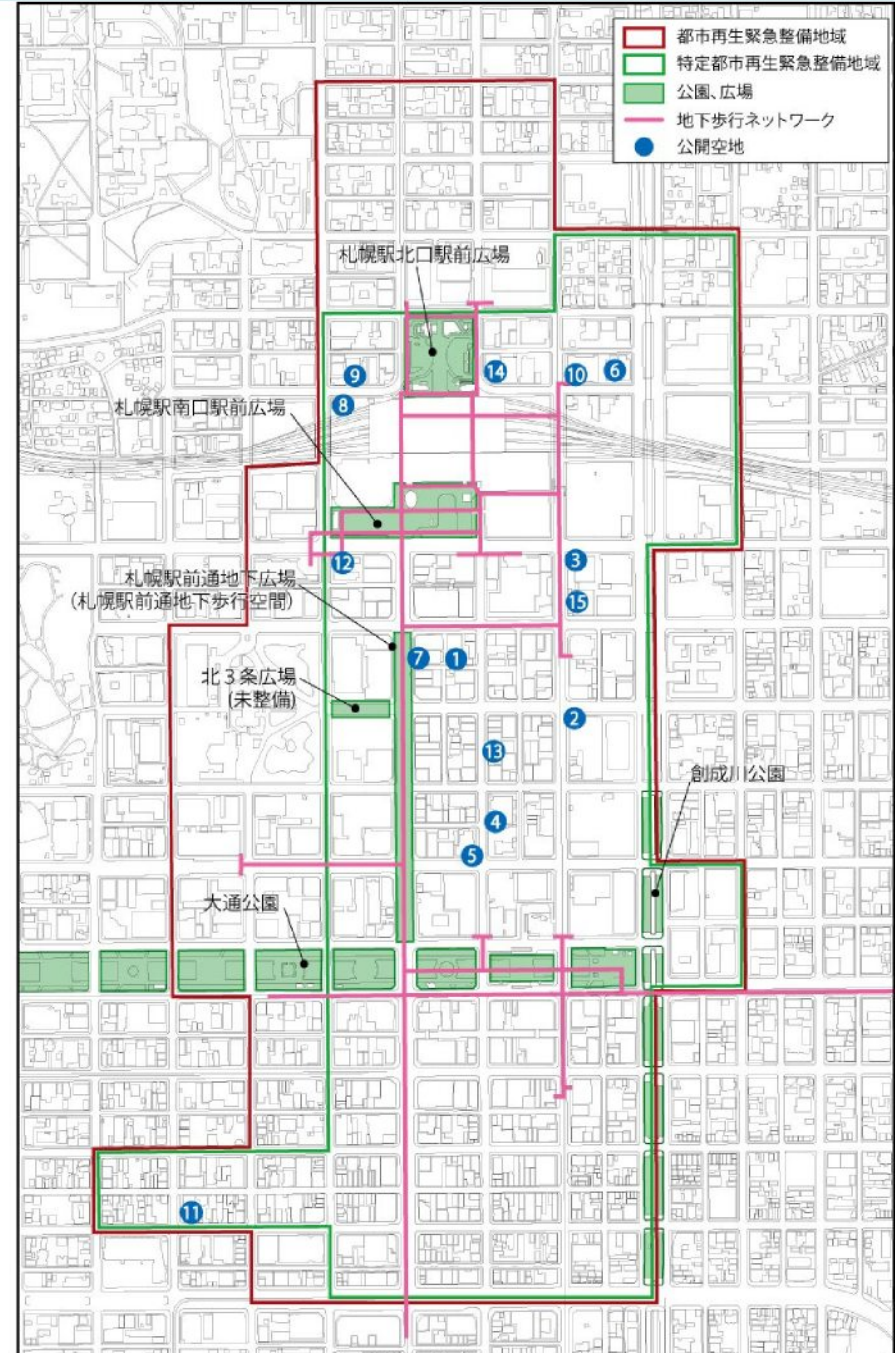


(資料)暦年・年度別空港管理状況調査/国土交通省航空局

## ●防災

▼札幌を象徴とする大通公園や創成川公園、また札幌駅北口・南口駅前広場、さらに札幌駅前通地下歩行空間によって大通交流拠点と札幌駅交流拠点が結ばれ、地上や地下を利用したオープンスペースのネットワーク化が進む。

▼オープンスペースのネットワーク化において、防災機能の向上も重要な取り組みの視点となる。



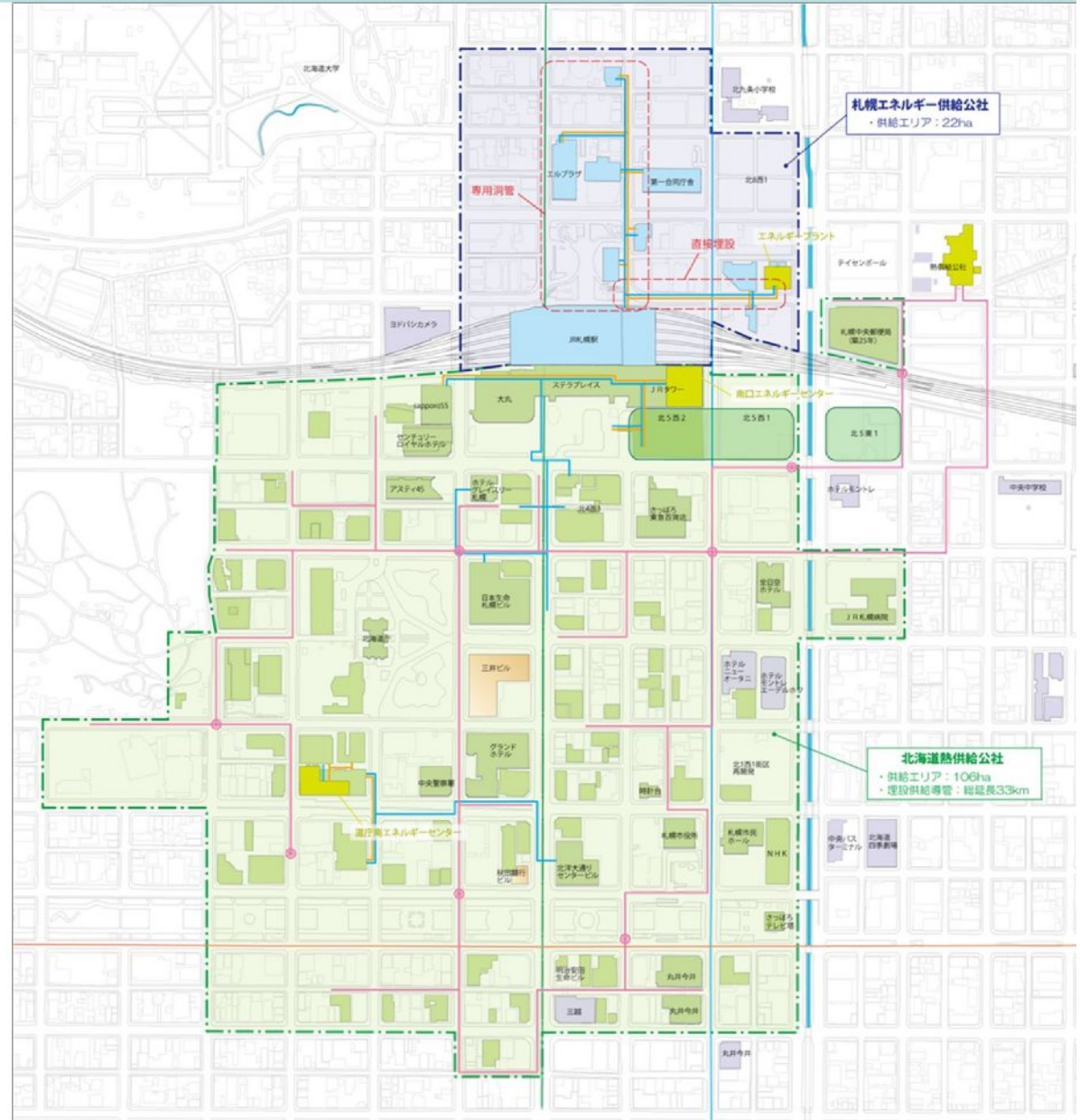
【特定地域内のオープンスペース】

(資料)札幌市資料

## ●環境・エネルギー

▼熱供給会社により、地域熱供給、木質バイオマスや天然ガスの利用、都心融雪槽利用地域冷暖房システムの設置などCO2排出削減に向けた取組みが実践され、低炭素都市づくりを推進していくためのベースは整っている。

▼こうした分散型エネルギー供給拠点の整備は、災害に強い側面を持ち、防災上も優位性が高い。



【札幌都心部におけるエネルギー供給状況】

(資料)各供給公社HP

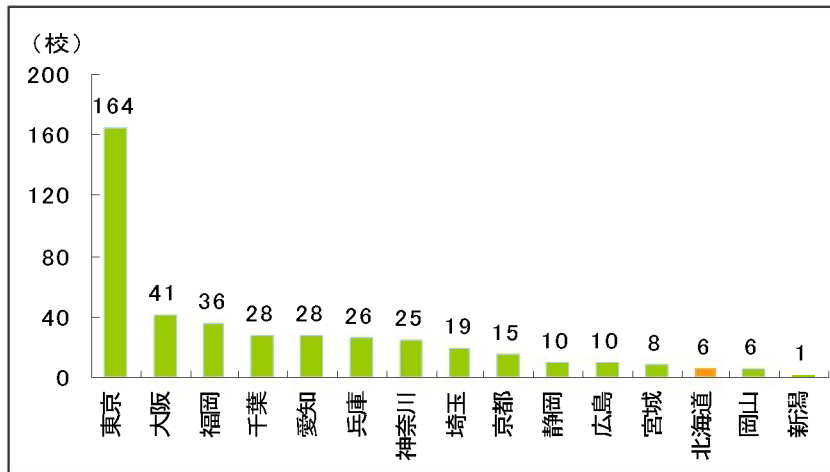
●生活サポート機能

▼札幌都心部における、サービスアパートメントなどの外国人の居住やビジネスを支える生活利便機能の集積はみられず、国際的生活サポート機能は必ずしも高くない。

※サービスアパートメント

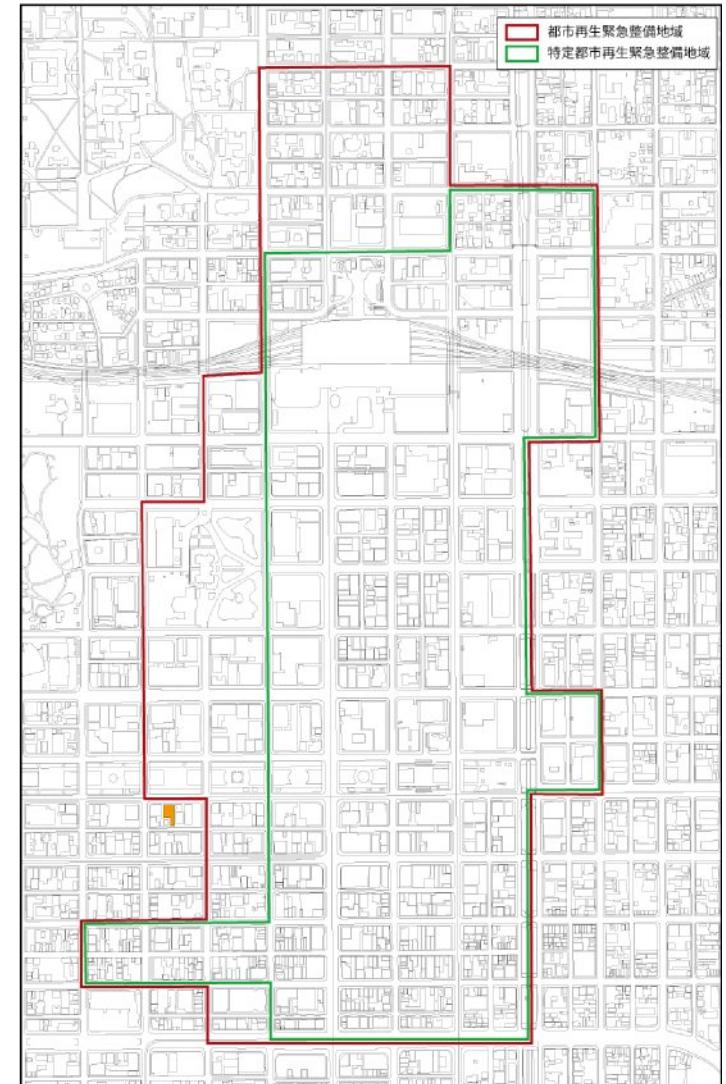
主に外資系企業の中長期出張者をターゲットとして、リネン交換、クリーニング、ハウスキーピング、朝食などホテルと同様のサービスを提供し、家具・家電製品や什器類が付属している高級賃貸住宅のことをいう。フィットネスジム、スパ施設などを併設している物件もある。

【政令指定都市のある都道府県の日本語学校数】



(資料) 全国日本語学校データベースHP

【サービスアパートメント】



(資料) 各主要不動産ウェブページ(住友不動産、三井不動産、三菱地所、東急不動産、積水ハウス、大和ハウスなど)

## ●エリアマネジメント

- ▼「都市再生整備推進法人」に指定された札幌大通まちづくり株式会社や札幌駅前通まちづくり株式会社によって、イベント等の空間活用や、駐輪対策などの環境整備、都心や札幌、北海道の魅力のPRや発信などの取組みが展開。
- ▼まちづくり会社や民間団体、行政の協働により、都市の魅力の向上や、都心全体の活性化に向けた取組みが進められている。

【札幌大通まちづくり(株)による取組み】



【札幌駅前通(株)による取組み】

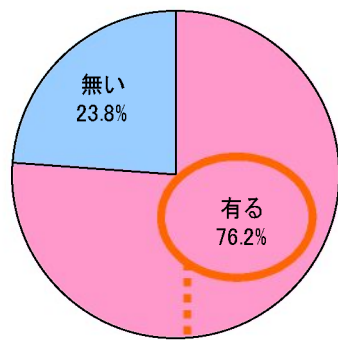


(資料)各社HPより転載

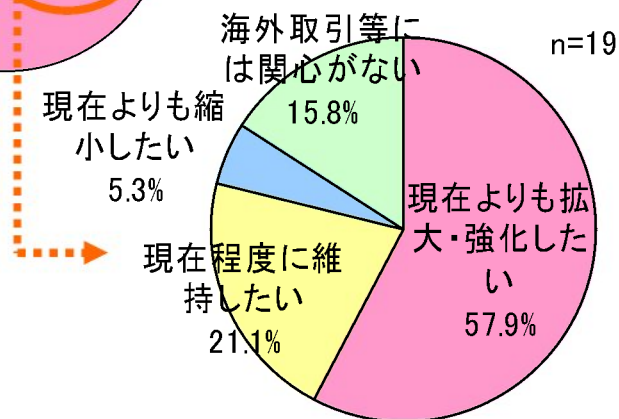
### ●高度業務

- ▼アンケート調査結果では、3/4以上の企業が海外取引をしており、今後海外取引を拡大・強化していきたいとする企業は半数以上を占める。
- ▼今後強化していきたい商品やサービスは、北海道に優位性がある「食」分野における道産品などの輸出や海外提携機関の連携強化や新規取引先の開拓等。
- ▼現状の取引相手先＝今後結びつきを強めていきたい地域＝今後競合が予想される地域＝東アジアや東南アジア（主に中国や韓国、台湾やシンガポール）を認識している企業が多い。

【海外取引等の有無】 n=21



【海外取引等の関心度】



【今後結びつきを強めていきたい地域】

業態	強めたい国、地域、市
旅行業	中国
銀行業	アセアン地域(シンガポール、香港など)
農業協同組合	東アジア、東南アジアなど
家庭スポーツ用品・住宅設備等の卸売業	中国、東南アジア諸国
業務用資材製造業	東アジア

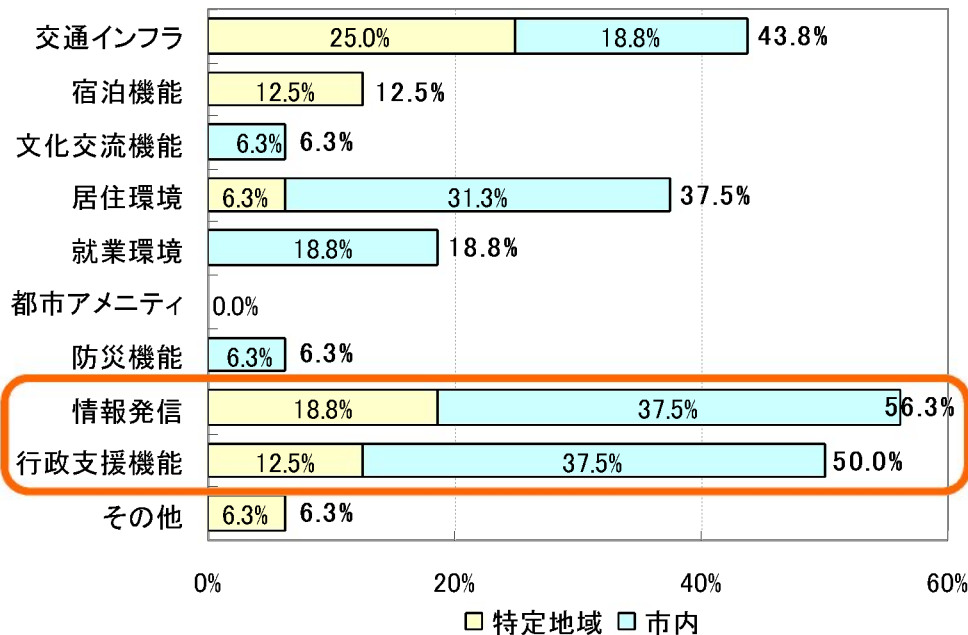
(資料) 主要企業アンケート調査結果

● 高度業務

- ▼ 国際競争力を高めるために不足しているのは、海外の取り組みなどの「**情報提供**」や海外進出の「**行政支援機能**」。
- ▼ そのほか**国際的なビジネス環境が不十分**（国際法に詳しい弁護士等の不足、Wi-Fiスポットが少ないなど）。
- ▼ 国際的競争に打ち勝つためには、**北海道大学の教育・研究機能の活用**をすべきとする意見が出された。

【社会基盤・都市機能で不足している点】

n=16



【国際競争力強化に向けて期待する具体的な改善策】

業態	具体的な改善策
旅行業	・プロモーション事業の強化
銀行業	・外国語表記少ない。（英・中・ハングルetc） ・国際法に詳しい弁護士等の不足 ・Wi-Fiスポットが少ない。
農業協同組合	・海外での取組みについての、わかりやすく機を逃さない迅速な情報提供
家庭スポーツ用品・住宅設備等の卸売業	・海外進出支援の情報提供機能
繊維衣服等製造業	・民間企業にとって利用しやすい行政支援のシステム

(資料) 主要企業アンケート調査結果

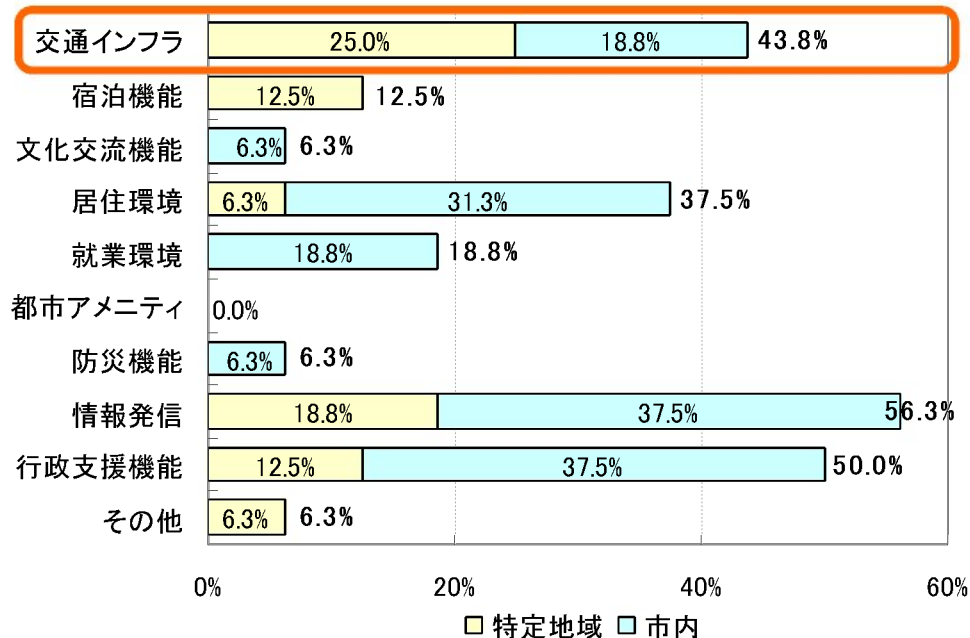


## ●インフラ

- ▼アンケート調査より、海外取引・海外展開・海外からの受け入れを強化していく上で、「**交通インフラ**」が課題であるとする企業が多い。
- ▼具体的には、新千歳空港や道内地方空港の海外直行便受け入れの拡大など、**海外との交通アクセス性の向上**について改善が期待されている。
- ▼市民意見として、交通機関の乗降場所や行き先・ルートのわかりやすさや、市民と来訪者(外国人含め)の交流の促進、「車」から「人」への交通環境の転換といった、「**人**」を大事にした**交流拠点の形成**を求める意見が出された。

【社会基盤・都市機能で不足している点】

n=16



【国際競争力強化に向けて期待する具体的な改善策】

業態	具体的な改善策
旅行業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新千歳空港への海外直行便受入拡大策の実行</li> <li>・道内地方空港への海外チャーター便受入拡大策の実行</li> </ul>
銀行業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富裕層向けの高級ホテル少ない。</li> </ul>

(資料) 主要企業アンケート調査結果

## ●観光

- ▼アンケート調査では東アジアや東南アジアからの観光ツアーや観光客が多い。
- ▼今後もインターネットを活用した訪日外国人ツアーの拡充や宿泊客数の増加などを強化していきたい意向が示された。
- ▼国際競争力を高めるために、「プロモーション事業の強化」「通訳、旅行ガイドの養成」などのほか、「富裕者層向け高級ホテル」「外国語表記の充実」といった高次都市機能の充実などについても期待されている。

### 【今後強化していきたい商品やサービス・技術と予定されている取組み】

業態	今後海外との取引（または受け入れ）を強化したい商品やサービス、技術	予定されている取組み
宿泊業	宿泊部門	インターネット集客
旅行業	訪日外国人ツアーの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風評被害の払拭に向けた営業強化</li> <li>・WEB販売の拡大</li> </ul>
銀行業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスマッチング：提携機関との連携によるビジネス機会の提供</li> <li>・道産品の輸出促進：フード特区との連携、香港・シンガポールなどへのエリア拡大</li> <li>・海外提携機関との連携強化：大連銀行、香港貿易発展局ほか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会の開催：バイヤー招聘、海外商談会への出展</li> <li>・セミナーの開催：現地情報の道内への還元</li> <li>・海外提携機関との連携強化：大連銀行、香港貿易発展局ほか</li> </ul>

(資料) 主要企業アンケート調査結果

●環境・防災

▼「みどり」や「文化」「人」を大切にしたい、札幌の都市の魅力を象徴し、その魅力を世界に発信するシンボリックな広場やオープンスペースの形成を求める意見が出された。

▼環境首都さっぽろのPRをするべき、とする低炭素都市づくりの必要性を述べる意見が出された。

【市民検討会による20年後のさっぽろ駅周辺のあるべき姿】

【留学生・学生ワークショップの様子】

まとめ <来街者を迎え入れる機能の強化>

市民の一般的な意見傾向 ※市民アンケート・市民検討会	道内・道外の一般的な意見傾向 ※道内・道外WEBアンケート	将来にわたる利用者から国際的な意見やアイデア ※留学生・学生ワークショップ	事業者の視点の活性化への意見 ※事業者ヒアリング
○広場・景観・観光機能といった来訪者を迎え入れる機能向上	○札幌ブランドの発信による国際性向上 ○札幌らしい自然や文化の表現	○市内・道内の情報を来訪者へ提供する役割が重要	○人による観光機能の強化 ○北海道・札幌の発信をするべき ○札幌らしい自然や文化の表現による国際都市の実現
			○シンボルとしてイメージ作りが必要



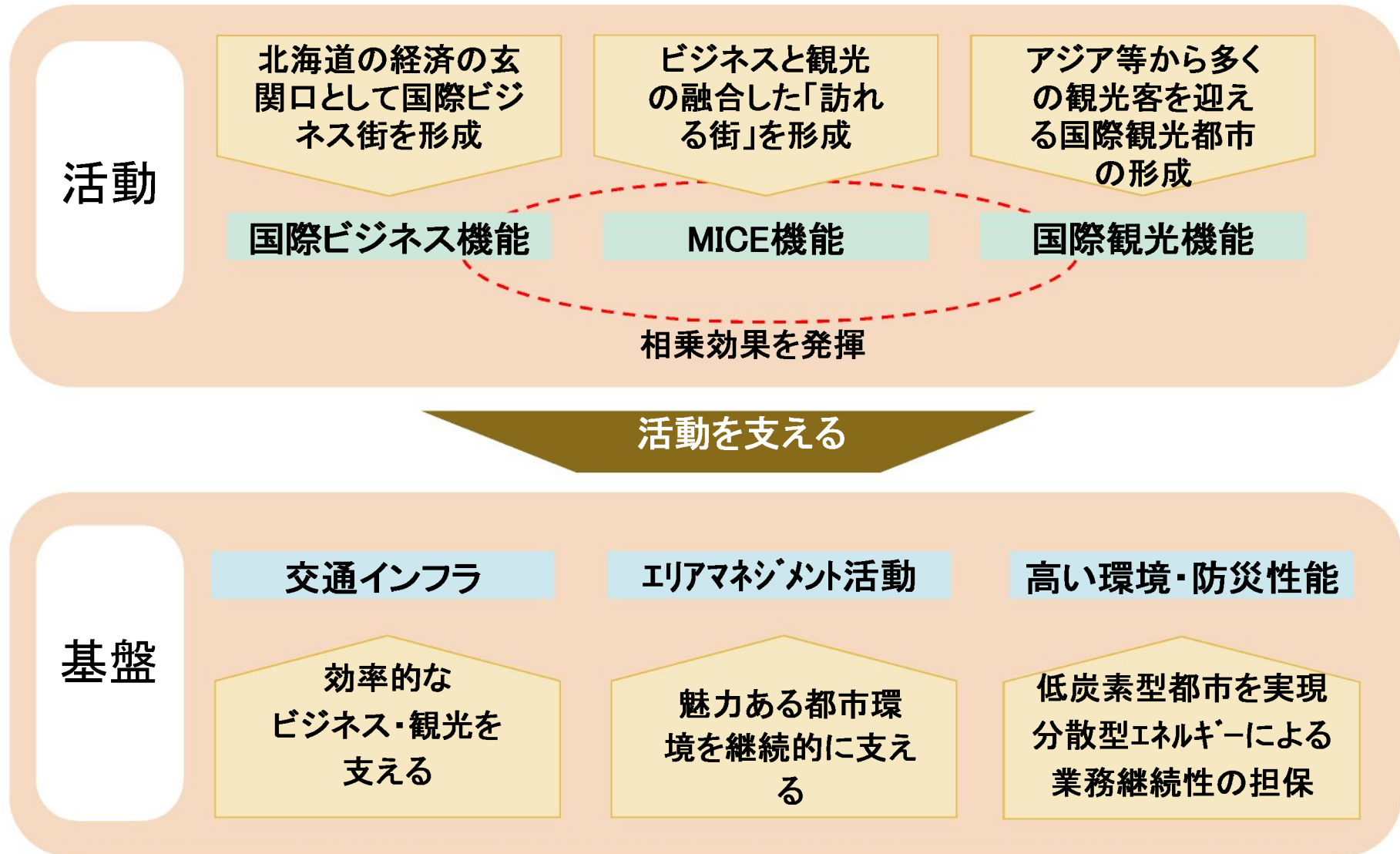
### ●生活サポート機能

- ▼アンケート調査結果から、国際競争力強化に向けて、「居住環境」や「就業環境」を課題と認識している企業は多い。
- ▼事業者ヒアリングから、都心周辺部とも連携しながら、都心部における居住機能や業務機能などが複合した、「国際的な高度ビジネスとそれを支える生活サポート機能の向上」が期待されている。

### ●エリアマネジメント

- ▼事業者ヒアリングから、来街者ニーズに応えるために、エリアマネジメントによる面的なまちづくりの必要性について意見が出された。
- ▼街区単位だけでなく、「地区単位や都心全体といった段階的なエリアマネジメント」による、「総合的なまちづくりの推進」が期待されている。

●札幌駅・大通周辺地域の強みの想定



## ●既存のランキングにみる我が国都市のポジション

▼「世界の都市総合ランキング」  
(2011年10月、森記念財団)  
によるランキング都市



- ・東京：4位
- ・大阪：15位
- ・福岡：28位

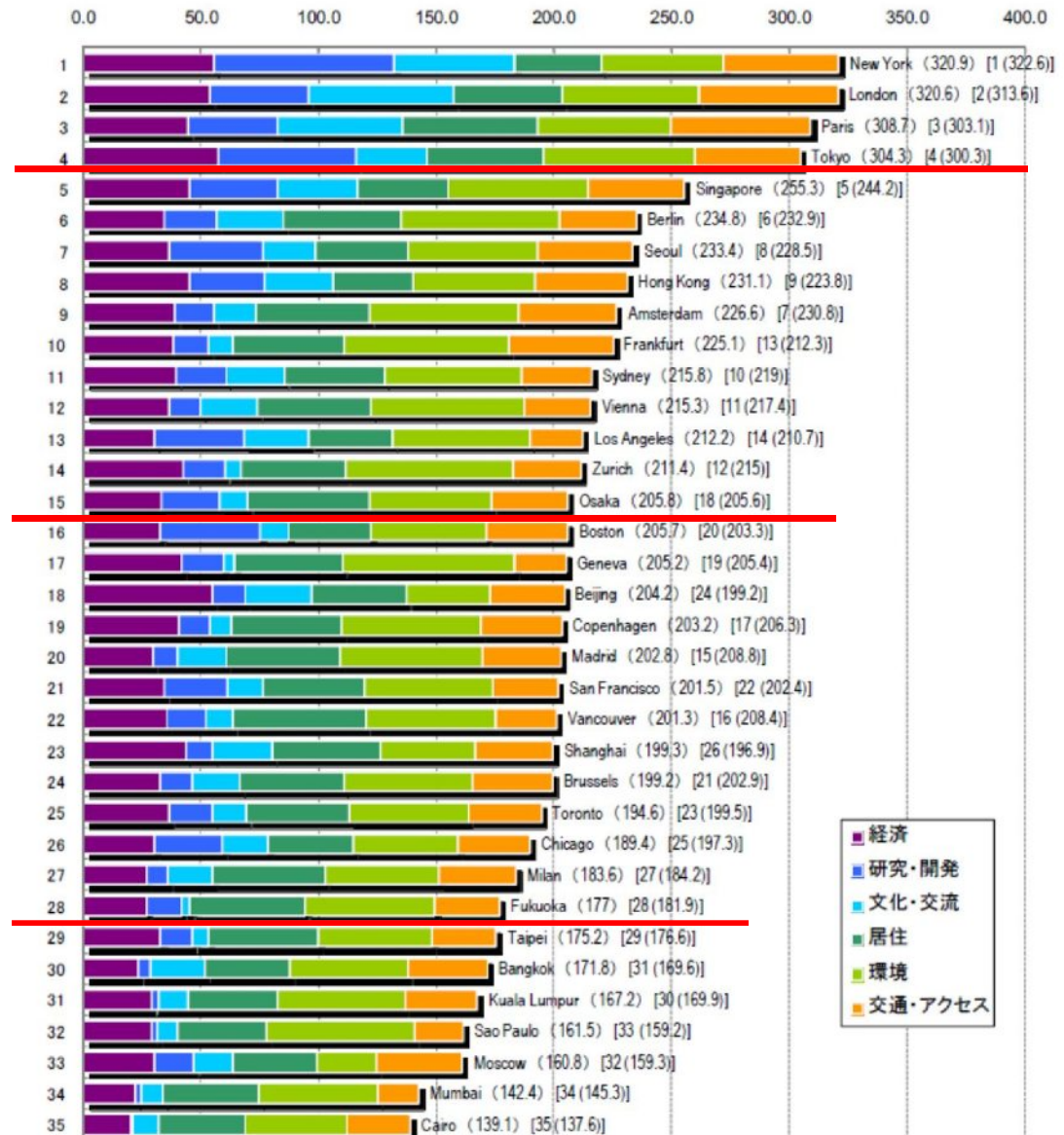
▼札幌市は・・・



- ・人口規模は国内第5位
- ・福岡市(同7位)より規模が大きい

ランキングに並ぶ都市群が  
競争都市

(Ex.) 上海、ブリュッセル、トロント、シカゴ、ミラノ、台北、バンコク、クアラルンプール、サンパウロ・・・



(資料) 森記念財団「世界の都市総合ランキング(2011年10月)」抜粋

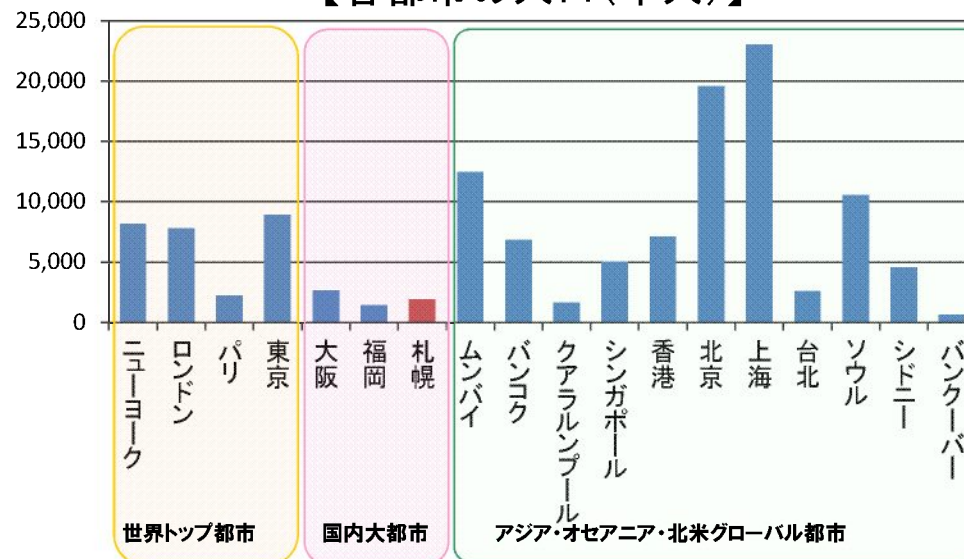
## ● 経済規模

▼札幌市の人口は約190万人（2012年年初）である。比較対象とした都市は、各国の首都が大半を占めており、また、都市圏域も大きいことから人口規模の大きい都市が多い。

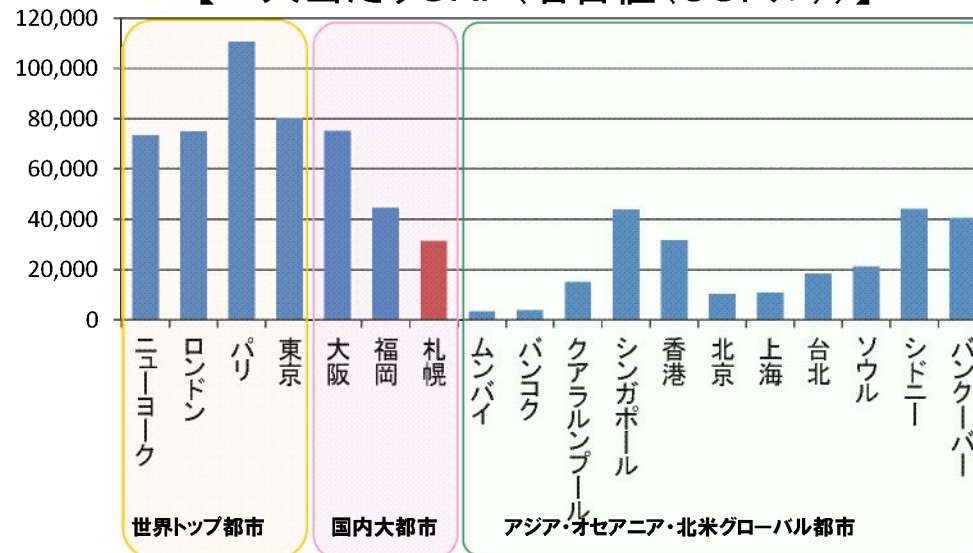
▼札幌市のGRP（都市域内における生産額）は福岡市と同程度の水準である。とりわけ経済発展の著しい中国諸都市の経済規模は、札幌市の3～4倍であり、また大阪市をしのぐ規模。

▼一人当たりGRPで比較すると、札幌市はアジアの大都市よりも高く、香港と同規模であり、上海や北京よりも高い。

【各都市の人口(千人)】



【一人当たりGRP(名目値(USドル))】



(資料)各都市統計サイト等より作成

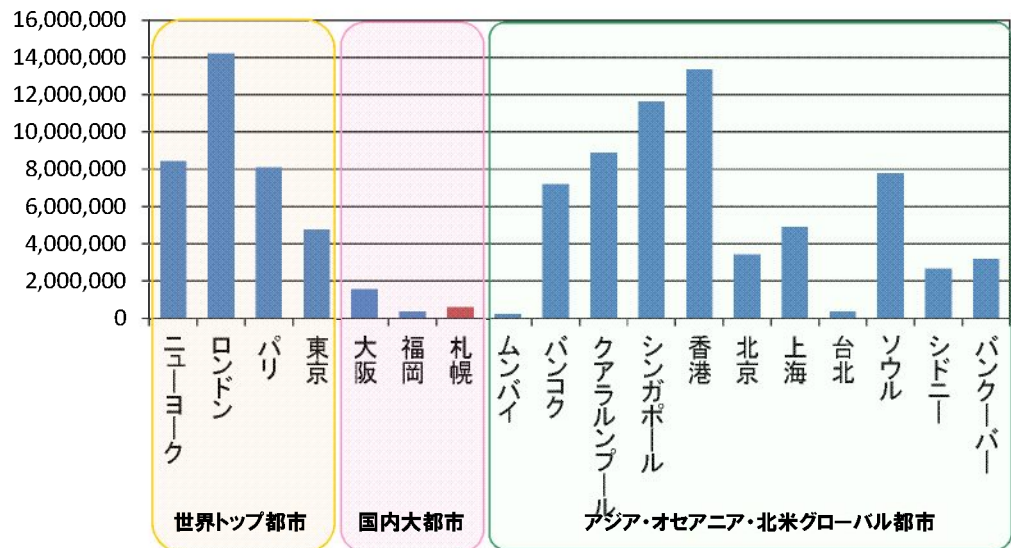
● 国際交流

▼札幌市の海外からの訪問客数は、約62万人(平成22年度の宿泊実人数)である。アジアの諸都市では、1千万人を超える香港、シンガポールをはじめ、東京を上回る外国人の訪問がある都市が多数存在する。

▼(財)森記念財団の調査による外国人の平均宿泊日数は、ロンドンが同6.25日、東京が同2.98日、パリが同2.67日。

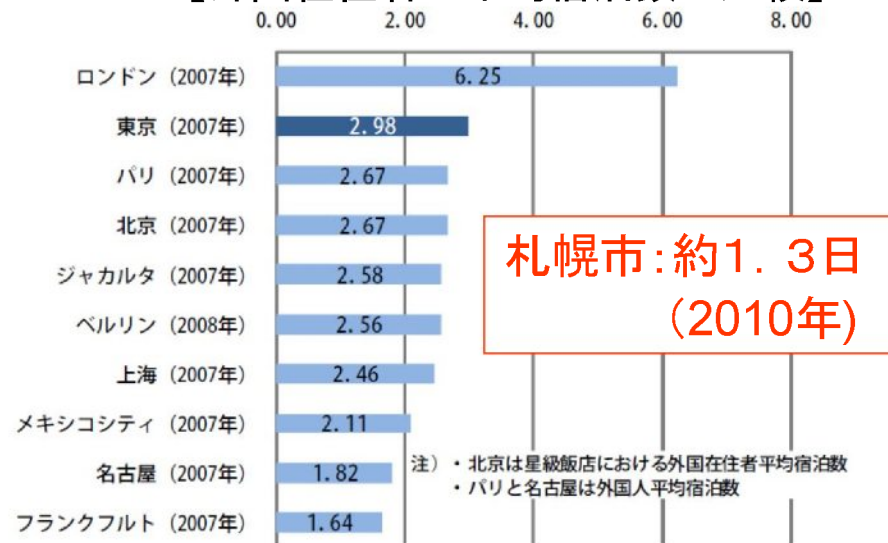
一方、札幌市は約1.3日(H22)であり、H18年度の1.1日からやや長期滞在化の傾向はみられるものの、これら競合都市との比較においては課題があるといえる。

【海外からの訪問客数(人)】



(資料)各都市統計サイト等より作成

【外国在住者の平均宿泊数の比較】



(資料)財団法人森記念財団「外国からの来街者数都市比較」より引用

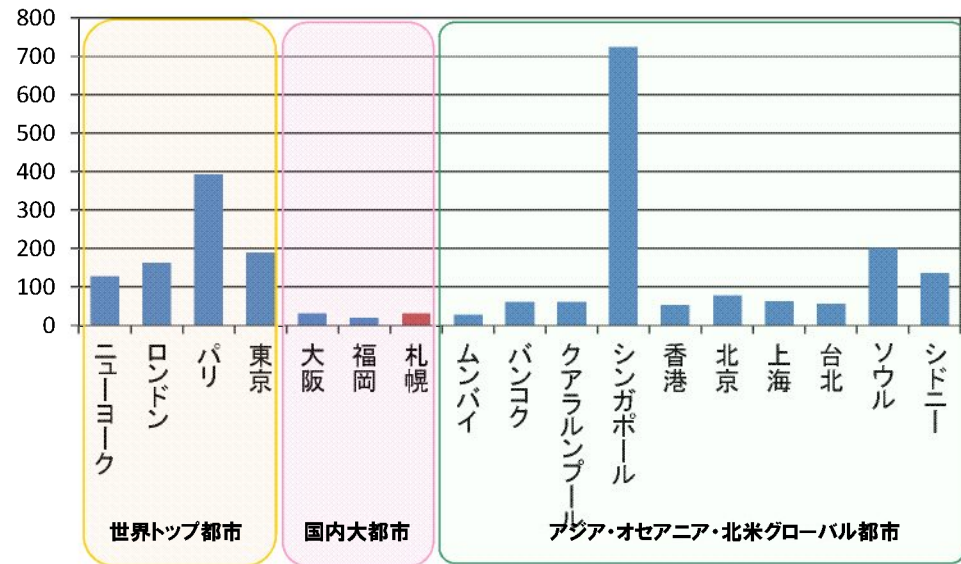


● 国際交流

▼札幌市での国際海外開催件数は31件(2010年)。国内では大阪市に次ぐ6位と上位であるが、アジア諸都市と比べると開催件数は少ない。

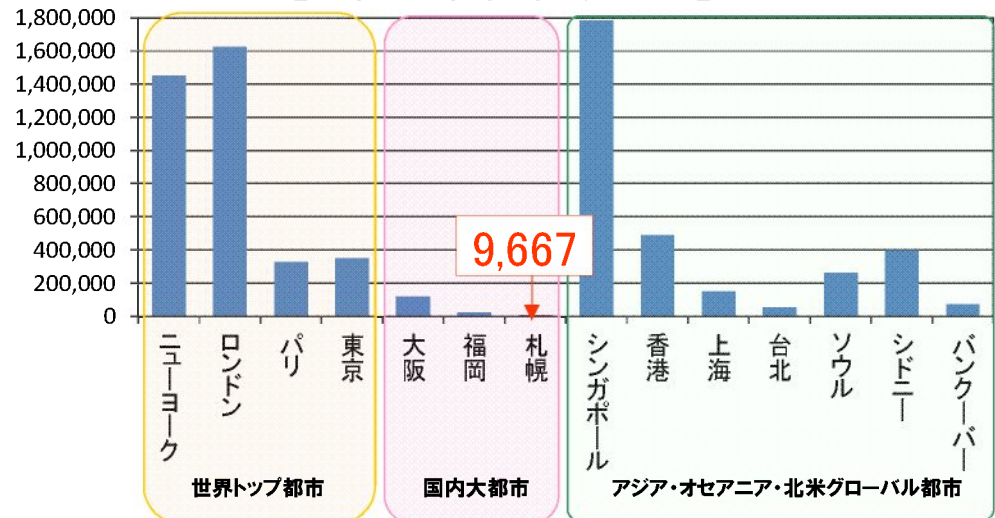
▼札幌市の外国人居住者数は、約9,700名であり、アジア諸都市と比較して少ない。

【2010年の国際会議開催件数(件)】



(資料)「2010年国際会議統計」JNTOより作成

【外国人居住者数(人)】



(資料)各都市統計サイト等より作成

## ●活動基盤

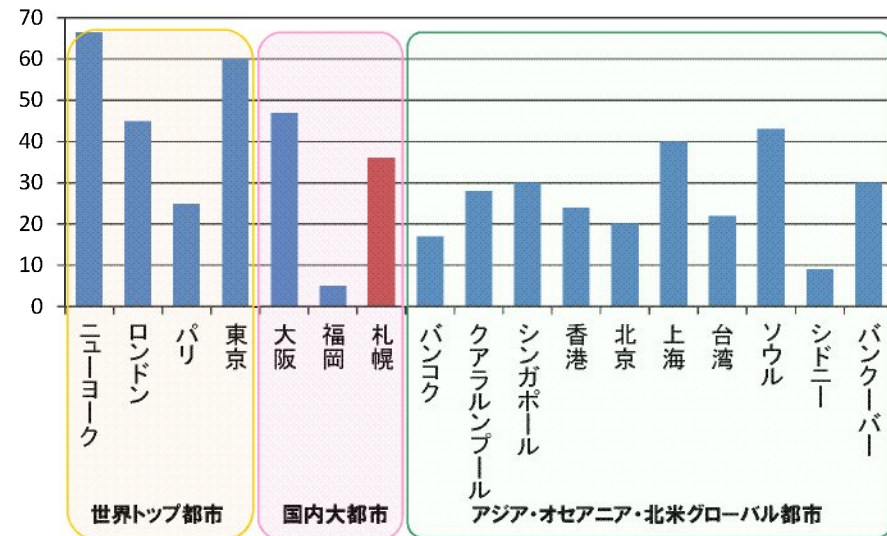
▼新千歳空港から札幌駅までは、JR快速エアポートで36分を要する。

他のアジア諸都市は、国際空港から都市中心部までの時間距離が30分程度という都市が多く、札幌市の国際空港からのアクセスは一般的な水準。

▼札幌市で予約可能な5つ星ホテルはなく、4つ星ホテルは9件。

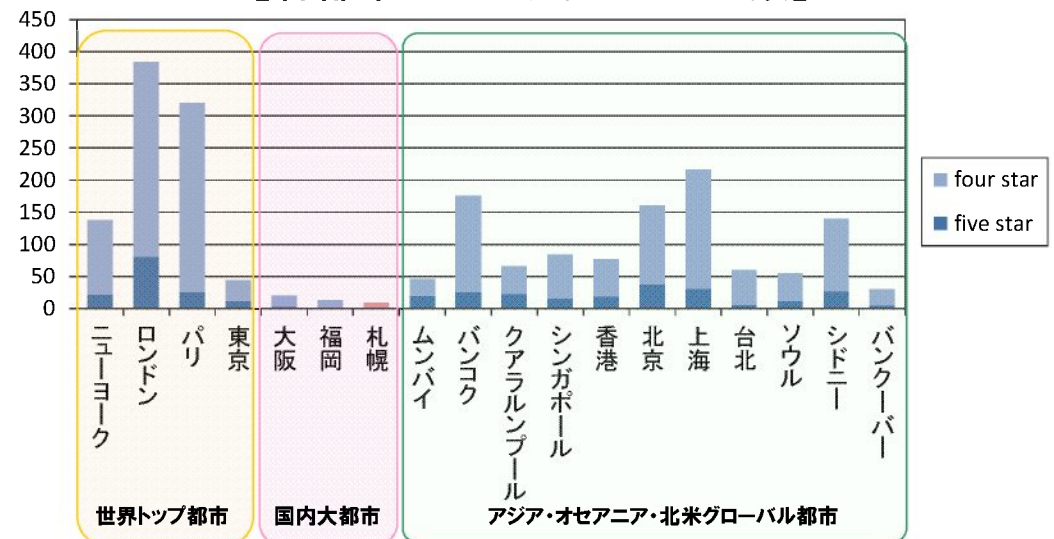
北京、上海は予約可能な5つ星ホテルが30を超えるなど、札幌市の宿泊機能はアジア諸都市と比較すると課題が多いといえる。

【都市中心部から主要空港間での概ねの所要時間(分)】



(資料)ANA、JALのHPにある各国際空港の情報をもとに作成

【各都市のハイクラスホテル数】



(資料)Expedia(英語版サイト)より作成

## ●活動基盤

▼シンボリックな景観は、その都市のイメージを形成し、ブランドにもつながる重要な要素。アジアの競合都市にもこうした国際競争力強化に資する景観形成の取り組みが見られる。札幌市もこうした拠点性、シンボル性を備えた空間として一層の景観形成が求められる。

#### 【札幌市とアジア諸都市の都市景観の例】



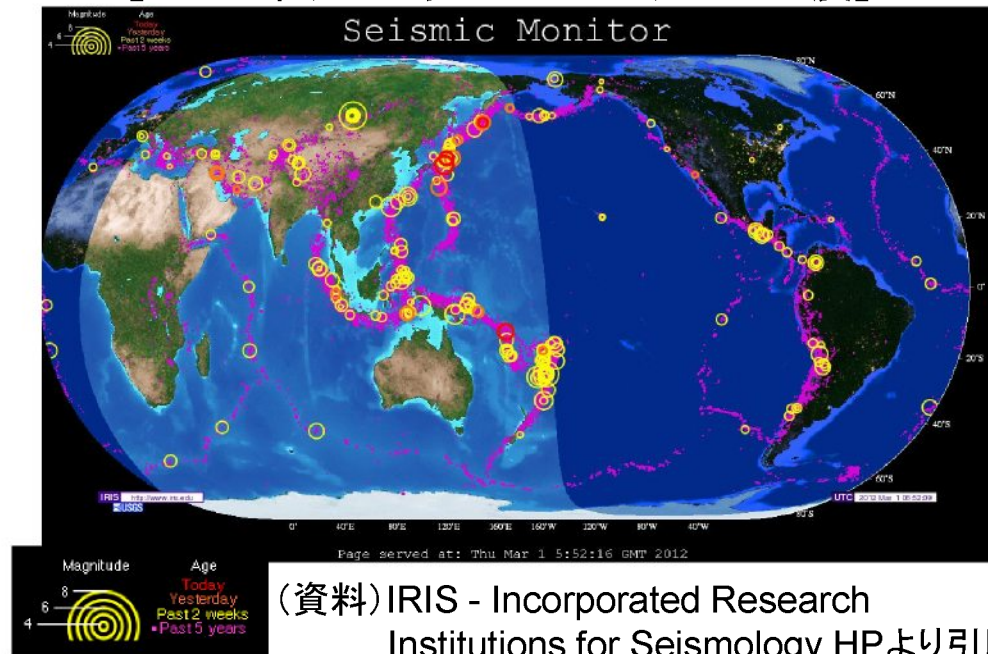
写真: 【札幌市】札幌市HPより引用 【シンガポール・香港】Fotolia(写真販売WEBサービス)より購入

## ●活動基盤

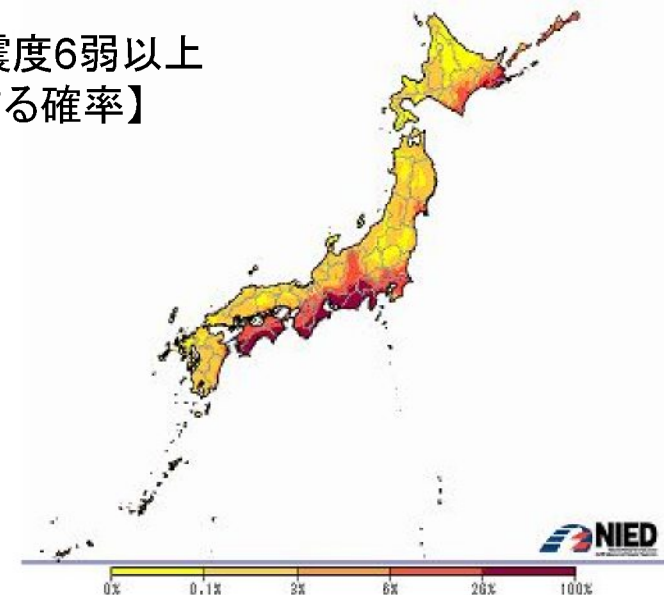
▼世界的に見ても、日本近郊の太平洋プレート、フィリピン海プレートなどを震源とする地震の発生数が多く、また地震の規模も大きいことから、国際的なビジネスの場としてみた場合、都市の防災対応力に対する高い信頼性を持つことが国際競争力の強化の観点から必須。

▼札幌市は地震、水害、雷等の自然災害のリスクは国内諸都市に比べ低いとされているが、東日本大震災以降、地震発生の想定条件が大きく変化している可能性があり、十分な対策が求められる。

【過去5年以内に発生したM4以上の地震】



【今後30年以内に震度6弱以上の地震が発生する確率】



●札幌市（札幌駅・大通駅周辺地域）の強み・弱み

区分	分野	内容
強み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高いビジネス生産性</li> <li>・良質なオフィス</li> <li>・R&amp;D拠点(企業や大学)</li> <li>・コンパクトな都心部</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な商業・飲食施設</li> <li>・北海道という観光資源の玄関口</li> <li>・さっぽろ雪祭り等知名度の高い祭</li> <li>・歴史ある文化資源等</li> <li>・夏、冬をはじめとする四季の強み</li> <li>・大通公園などの象徴的なオープンスペースや景観</li> </ul>
	交通インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MICE開催地としての知名度</li> <li>・良好な空港アクセス</li> </ul>
	エリアマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動を支える市民力</li> <li>・街の魅力を支えるエリマネ活動</li> </ul>
弱み		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国企業からみる投資先としての魅力(外資系企業等の立地が少ない)</li> <li>・国際交流(外国人居住者、留学生)</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在が短期(玄関口)</li> <li>・MICE施設の受入規模</li> </ul>
	交通インフラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市内交通インフラ</li> <li>・海外旅客ネットワーク(直行便や供給量)が不十分</li> </ul>

※札幌駅・大通駅周辺地域や札幌市の特徴、あるいは海外諸都市との比較より明らかとなった強み・弱みを整理

●札幌駅・大通駅周辺地域（札幌市）のSWOT分析

		外部環境	
		機会	脅威
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際戦略特区指定(北海道フード・コンプレックス)による一層の産業強化</li> <li>・北海道新幹線の整備</li> <li>・アジアの成長と北海道の観光シーズへの注目(アジアでのブーム、海外航空会社による新規航路、増便)</li> <li>・東日本大震災の影響からの立ち直り(外国人観光客)</li> <li>・安全・安心や景観、環境への更なる関心の高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減、超高齢化、ゼロ成長時代への本格的な移行</li> <li>・Japanパッシング(東京さえも)とアジア都市(競合都市)の成長</li> <li>・東日本大震災の影響(国内企業の海外移転、海外企業の投資先変更)</li> <li>・優秀な人材の獲得競争が激化</li> <li>・東アジアのMICE産業強化・大規模施設整備</li> <li>・自然災害のリスク</li> </ul>
内部環境	強み	<p>【強みを活かし強化すべきポイント】</p> <p>①</p>	<p>【差別化を図り強化すべきポイント】</p> <p>②</p>
	弱み	<p>【克服すべきポイント】</p> <p>③</p>	<p>【競争を回避するポイント】</p> <p>④</p>

①強みを活かし強化すべきポイント

		<b>外部環境</b>
		<b>機会</b>
<b>内部環境</b>	<b>強み</b>	<p><b>●北海道の経済中枢として国際ビジネス機能の高度化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、観光・食、医療・福祉・健康分野等の成長産業の誘致に強みとなる高品質で高い環境・防災性能を有する国際水準のオフィス供給</li> <li>・Face to Faceの効率的なビジネスを可能とする、業務統括機能やR&amp;D機能(民間企業や大学、研究機関)等の集積、連携促進</li> </ul>
		<p><b>●北海道の観光の玄関口として拠点性と多様性を兼ね備えた都心の形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界都市さっぽろとして札幌駅周辺のゲートウェイ機能の強化(商業、文化、芸術などの多様な機能集積の促進)</li> <li>・市内の多様で豊富な観光資源、道内の多くの観光資源を活かしたアジアにおける観光拠点の形勢</li> <li>・シンボリックな景観・空間の魅力向上によるブランドイメージ強化</li> </ul>
		<p><b>●ビジネス・観光を支える高度な交通インフラの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの機会頻度の向上、観光資源の面的ネットワークの強化を目的とした都市内交通インフラ強化</li> <li>・国際空港アクセスの一層の充実(路線、駅施設等)</li> </ul>
		<p><b>●エリアマネジメント活動の強化・連携により都心の魅力を継続的に発展</b></p>
		<p><b>●寒冷地の環境共生まちづくりモデルとして高度化を促進</b></p> <p><b>●事業継続や安全な生活を担保する高度な防災都市の実現</b></p>

②差別化を図り強化すべきポイント

		<b>外部環境</b>
		<b>脅威</b>
<b>内部環境</b>	<b>強み</b>	<p><b>●国際競争力のある産業と連動した都心整備の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品・ライフサイエンス等の研究・開発資源を活かすような高次産業の集積を促進するビジネス環境の整備(日本の拠点、かつアジアの拠点でもあ るような拠点形成)</li> </ul>
		<p><b>●ビジネスと観光を融合したMICE産業の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスと観光の相乗効果を発揮するようMICE施策を展開(相互の連携)</li> <li>・MICE施設の大規模化ではなく、魅力ある歴史・文化施設やイベント等の多様な魅力を組み合わせてMICE誘致を実現</li> </ul>
		<p><b>●自助・公助・共助による安全・安心なまちづくりの促進</b></p>



③克服すべきポイント

		<b>外部環境</b>
		<b>機会</b>
<b>内部環境</b>	<b>弱み</b>	<p><b>●外国企業進出や投資を呼び込み国際競争力の素地を形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な研究・開発資源と密に連携できるようなコンパクトな都市づくりを進め、外資系企業等を呼び込み国際化を推進</li> <li>・国際ビジネス展開に資するサポート機能の強化(外国事務、法手続き等)</li> <li>・国際化に向けた生活環境の整備(住宅、一時滞在施設、医療、学校、災害対応等)</li> </ul> <p><b>●魅力と回遊性の向上による滞在型都市への転換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の多養で豊富な観光資源を繋ぐ回遊性の向上により、滞在してもらう都市へ転換</li> </ul>

④競争を回避するポイント

		<b>外部環境</b>
		<b>脅威</b>
<b>内部環境</b>	<b>弱み</b>	<div style="border: 2px dashed red; padding: 10px;"> <p>●<b>長期的・持続的なまちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的、計画的な機能更新による魅力の維持</li> <li>・都市機能の更なる集約による、効率性の向上</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; display: inline-block;">                 全ての項目に共通             </div>

## 特定都市再生緊急整備地域の整備計画（案）

整備計画名	札幌駅・大通駅周辺地域整備計画
-------	-----------------

## 都市の国際競争力の強化に関する基本的な方針

優れたまちづくりを通じて世界都市となることを目指し、以下の方針により、災害にも強く、国際的な活動の拠点にふさわしい市街地を形成するとともに、これらの優れたまちづくりの展開をパッケージとして国内外に情報発信する。

- ・4つの骨格軸(駅前通、大通、創成川通、北三条通)と3つの交流拠点(札幌駅、大通、創世)を中心とした都市開発事業や公共公益施設の整備により、国際水準の業務機能、商業機能、宿泊機能、文化芸術機能、交流機能の集積と高度化を図る。
  - ・自立分散型エネルギー供給拠点の整備やスマートエネルギーネットワークの検討等を行い、環境にやさしく、災害にも強い国際的にモデルとなりうるまちづくりを実現する。
  - ・地上地下のオープンスペースや路面電車等の公共交通機関の整備を通じ、交通・回遊機能のネットワークを充実・強化することで、国際交流拠点としての構造強化を図る。
  - ・都市機能、都市空間を活用するエリアマネジメント組織の形成、強化を進め、国際交流拠点にふさわしい多様な活動の創出を促進する。
- 以上の取組を総合的に推進することによって、都市の魅力を高め、国内外の観光客・ビジネスパーソン等を惹きつけ、集客交流都市として国際競争力の向上を図る。

## 都市の国際競争力の強化のために必要な都市開発事業

No	事業名	事業概要	実施主体	実施期間(年度)	都市計画に関する事項、又は特例に関する事項 等
①	北2西4地区	約0.9ha	三井不動産株式会社、郵便局株式会社	H24～H26	
②	大通交流拠点((仮称)札幌大通西4ビル)	約0.1ha	石屋製菓株式会社、株式会社秋田銀行、秋田共立株式会社	H23～H24	

※事業の位置は別図の通り

## 都市の国際競争力の強化のために必要な公共公益施設の整備に関する事業

No	事業名	事業概要	実施主体	実施期間(年度)	都市計画に関する事項、又は特例に関する事項 等
㉗	北3条広場整備事業	約0.3ha 〔延長約125m 幅員約27m〕	三井不動産株式会社	H25 頃着手予定	
㉘	(仮称)北2西4周辺地区地域冷暖房施設整備事業	延床約1,850 m <sup>2</sup> 天然ガスコージェネレーション活用型	株式会社北海道熱供給公社	H24～H26	
㉙	大通交流拠点地下広場整備事業	約0.5ha	札幌市	H25～H26	
㉚	市民交流複合施設整備事業	延床面積未定 〔ホール約2,300席等〕	札幌市	H26 頃着手予定	
㉛	西2丁目線地下通路整備事業	延長約130m	札幌市	H26 頃着手予定	
㉜	路面電車ループ化整備事業	延長約380m	札幌市	H26～H27	

※事業の位置は別図の通り

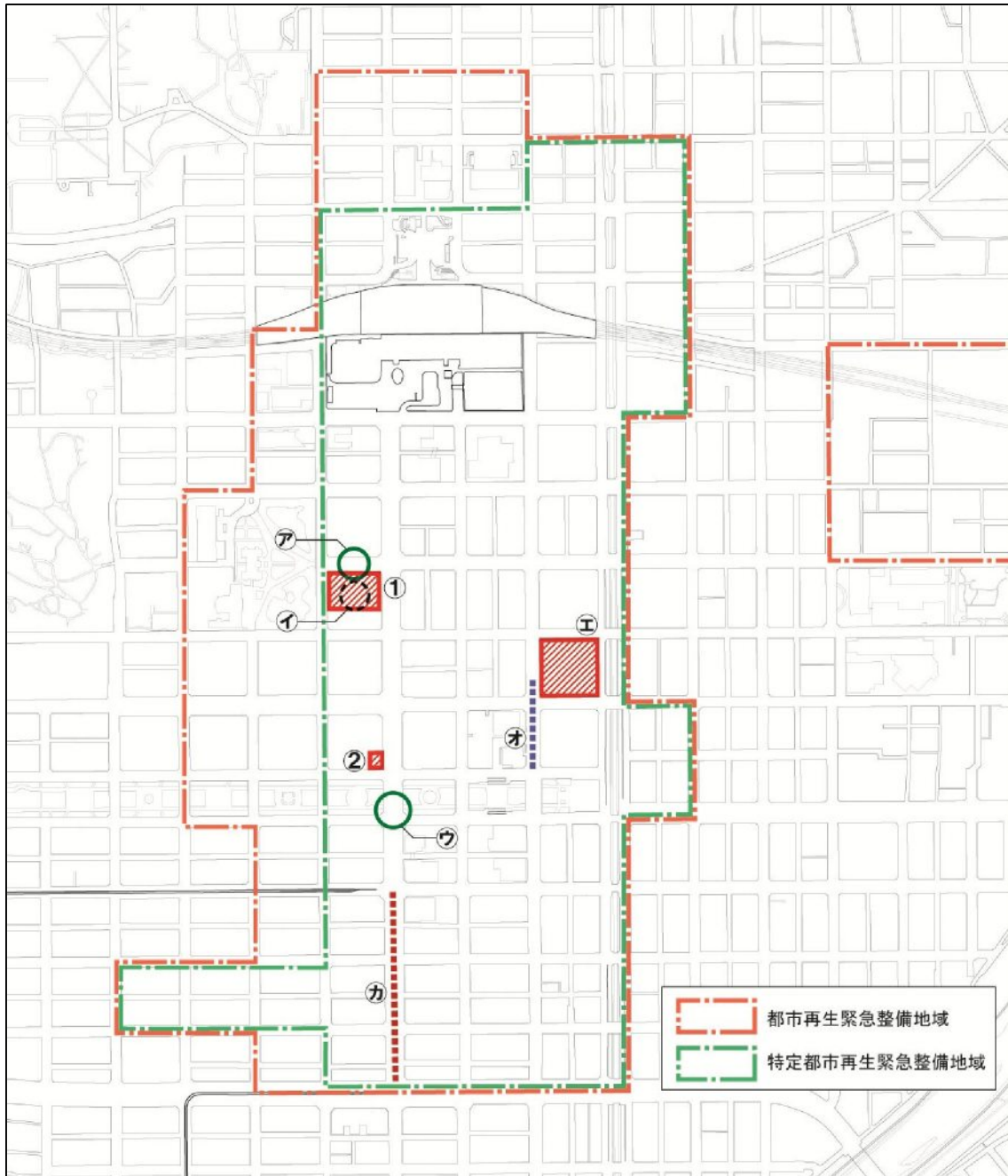
## 上記の事業により整備された公共公益施設の適切な管理のために必要な事項

上記の公共施設の整備に関する事業のうち、北3条広場、大通交流拠点地下広場については、指定管理制度を導入予定(決定した段階で整備計画を変更し、指定管理者を記載)

## その他、都市の国際競争力の強化のために必要な都市開発事業及びその施行に関連して必要となる公共公益施設の整備等の推進に関し必要な事項

上記の都市開発事業及び公共公益施設の整備にあたっては、安全で快適な歩行空間や、変化に富んだ奥行きのある身近な公共空間(界わい空間)の創出を積極的に行い、それらと上記オープンスペースとのネットワークの形成を図ることで、国内外からの来訪者や市民の回遊や交流、様々な活動を育み、世界都市にふさわしい多様性に富んだ魅力ある市街地を形成していく。

また、札幌駅前通まちづくり株式会社による札幌駅前通地下広場の管理運営や、札幌大通まちづくり株式会社による道路空間の環境美化活動、オープンカフェ、エリアマネジメント広告事業などの道路空間活用などを支援し、地域が主体となった多様な活動を促進していく。



都市の国際競争力の強化のために必要な  
都市開発事業

- ① 北2西4地区
- ② 大通交流拠点((仮称)札幌大通西4ビル)

都市の国際競争力の強化のために必要な  
公共公益施設の整備に関する事業

- ㉞ 北3条広場整備事業
- ㉟ ((仮称)北2西4周辺地区地域冷暖房施設整備事業
- ㊱ 大通交流拠点地下広場整備事業
- ㊲ 市民交流複合施設整備事業
- ㊳ 西2丁目線地下通路整備事業
- ㊴ 路面電車ループ化整備事業

## 札幌駅・大通駅周辺地域 都市再生緊急整備協議会幹事会設置要綱（案）

## （設置・目的）

第一条 札幌駅・大通駅周辺地域都市再生緊急整備協議会（以下「協議会」という。）規約第十三条の規定に基づき、協議会又は部会での議事等を補佐し、必要な協議、調整等を行うため、札幌駅・大通駅周辺地域都市再生緊急整備協議会幹事会（以下「幹事会」という。）を組織する。

## （幹事会の構成）

第二条 幹事会は、協議会の構成員が指名する職員をもって構成する。

## （幹事長）

第三条 幹事会に幹事長を置き、協議会の議長の所属する団体の構成員をもって充てる。

2 幹事長は、会務を総理し、幹事会を代表する。

3 幹事長に事故があるときは、あらかじめその指名する幹事会の構成員が、その職務を代理する。

## （幹事会の招集）

第四条 幹事会は、幹事長が招集する。

2 幹事長は、必要に応じ幹事会の構成員以外の者をオブザーバーとして幹事会に参加させることができる。

3 幹事会の構成員は、あらかじめその指名する者を代理人として幹事会に出席させることができる。この場合において、代理人が幹事会に出席したときは、当該構成員は、幹事会に出席したものとみなす。

## （議事）

第五条 幹事長は、議事を総理する。

2 議事は、出席した幹事会の構成員の過半数で決し、可否同数の場合は、幹事長の決するところによる。

3 法令により特別の定めがある事項については、前項の規定にかかわらず、法令の規定により決する。

## （書面による議事）

第六条 幹事長は、やむを得ない理由により幹事会を開くことができない場合においては、事案の概要を記載した書面表決により幹事会の開催に代えることができる。

(議決権の委任)

第七条 幹事会に出席できない幹事会の構成員は、書面をもって表決し、又は他の出席構成員に議決権の行使を委任することができる。この場合においては、その構成員は出席したものとみなす。

(事務局)

第八条 幹事会の庶務は、幹事長の所属する団体において処理する。

(雑則)

第九条 この要綱の改正は、協議会に諮って行う。

2 法令、協議会規約及びこの要綱に定めるもののほか、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事長が幹事会に諮って定める。

附則

この要綱は、平成二十四年 月 日から施行する。